

令和7年度(2025年度)第7回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日 時：令和7年(2025年)10月14日(火) 午前10時～午前11時20分

場 所：本部棟2階大会議室及びオンライン

出席者：○委員

学長	堤 裕昭
副学長	鈴木 元
事務局長	梅川 日出樹
環境共生学部長	白土 英樹
総合管理学部長	宮園 博光
共通教育センター長	山田 俊
地域・研究連携センター長	石橋 康弘 (リモート参加)
デジタルイノベーション推進センター長	飯村 伊智郎 (リモート参加)
国際教育交流センター長	モロー ジェフリー スチュワート (リモート参加)

株式会社エフエム熊本相談役	荒木 正博
熊本県公立高等学校校長会長	田中 篤

○監事

公認会計士・税理士	吉川 榮一
-----------	-------

○事務局

久保田事務局次長、柳田総務課長、木山企画調整室長、堀口教務入試課長、國武学生支援課長、藤本教務入試課教務班参事、岡村教務入試課教務班主事

○欠席委員

文学部長	村尾 治彦
熊本大学理事	宮尾 千加子

○欠席監事

弁護士	本田 悟士
-----	-------

1 開会

2 学長挨拶

3 議事

(1) 審議事項

① 半導体学部(仮称)の理念、人材育成の目的、3つのポリシー(案)について

事務局教務入試課から、資料1に基づき、半導体学部(仮称)の検討状況の説明があり、内容に関しては検討作業に参加している宮園総合管理学部長から、以下のとおり説明があった。

- ・別紙1が上記理念と、目的、3つのポリシーをまとめたもの。それぞれ5つの資質に関して、DP(学位授与方針)では、どのような学生を育てたいかを定め、そのための教育課程をCP(教育課程編成・実施の方針)でどのような教育を行うかを定めている。また、その教育を受けるためにどのような学力を持った学生に入学してほ

しを AP（入学者受入れ方針）にまとめている。

- ・これらが、学部設立のすべての基本となり、現時点で、別紙 2～5 まで定めているので参考として示した。今後入試に関することや様々な検討を進めていくこととなる。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

② 令和 8 年度（2026 年度）春季入学入学者選抜（大学院文学研究科・秋季募集）における合格者の決定について

事務局教務入試課から、資料 2-1 に基づき、試験日、志願者数、受験者数について説明があり、引き続いて、文学研究科長から資料 2-2 に基づき試験結果の説明があった。

- ・博士前期課程日本語日本文学専攻では、一般選抜に 1 名が志願した。また、博士前期課程英語英米文学専攻では志願はなかった。
- ・博士前期課程日本語日本文学専攻では、9 月 30 日（火）開催の文学研究科委員会において、合否判定がなされた。
- ・博士前期課程日本語日本文学専攻の試験の配点は、専門科目 100 点、面接 30 点、計 130 点。
- ・受験者は総得点 6 割以上の合格基準を満たしており合格と判定したので審議をお願いしたい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

③ 令和 8 年度（2026 年度）春季入学入学者選抜（大学院アドミニストレーション研究科・秋季募集）における合格者の決定について

事務局教務入試課から、資料 3-1 に基づき、試験日、志願者数、受験者数について説明があり、引き続いて、アドミニストレーション研究科長から資料 3-2 に基づき補足説明があった。

- ・博士前期課程では、一般選抜に 1 名と社会人特別選抜に 1 名計 2 名が志願し、2 名とも当日受験した。
- ・10 月 2 日（木）開催の文学研究科委員会において、合否判定がなされた。
- ・一般選抜に関しては、外部試験の換算による英語 100 点、専門科目 200 点、面接 200 点、計 500 点。受験者は総得点 6 割以上の合格基準を満たし、また、全ての教科で 3 割を超えており、合格と判定した
- ・社会人特別選抜に関しては、小論文 200 点、面接 300 点、計 500 点。受験者は総得点 6 割以上の合格基準を満たしており、また、全ての科目で 3 割を超えており、合格と判定したい。
- ・以上 2 名の判定について、ご審議をお願いしたい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

④ 教員の採用について

事務局総務課から、以下のとおり説明があった。

- ・今回審議対象となった2件について、全学審査委員会等の審査が終了している。
- ・それぞれの採用案件について、環境共生学部長から選考の基準、経過、最終候補者の経歴、教育研究業績、および面接結果等の詳細な説明を行うので、そのことを踏まえ審議をお願いしたい。

1) 植物資源学

白土環境共生学部長から、資料4-1により、次のような説明があった。

- ・今回9件の応募があり、書類審査の結果、2名を面接審査対象とした。その後、役員面接等を経て、1名を第1候補者に選定した。また、もう1人のA氏についても、第1候補者が辞退の場合第2候補とすることと決定した。
- ・これまでの研究業績等を勘案し第1候補者を准教授として、また、辞退の場合A氏を、講師として採用することを内申したい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

2) 公衆栄養学

白土環境共生学部長から、資料4-2により、次のような説明があった。

- ・今回、6件の応募があったが、書類審査の結果、3名をプレゼンテーション審査と、面接審査の対象とした。審査の結果、そのうち2名が採用条件を十分満たしていることが確認され、第1候補者を講師として内申したい。
- ・また、次点のA氏についても、辞退された場合には、推薦順位2位のA氏を講師として内申したい。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

(2) 報告事項

① 令和7年度非常勤講師の採用（追加分）について

事務局教務入試課から、資料5-1、5-2に基づき、以下のとおり報告があった。

- ・今回非常勤講師3名の追加と、6科目追加となった。後学期が始まっており、9月中旬に採用を行っているため、今回は報告事項としてお示ししている。
- ・具体的な科目名については、資料5-1でご確認いただきたい。新任、継続の別も記載している。

4 その他

次回日程

令和7年度(2025年度)第8回 11月1日(土) 午前10時～ 本部棟大会議室

5 閉会